

○財務課長（田中栄之）

それでは、続きまして、歳出に移らせていただきます。予算書は34、35ページ、説明書も34、35ページとなります。なお、歳出の詳細説明に先立ちまして、各会計、各費目にわたる人件費について、先に御説明を申し上げます。

○総務課長（山口哲也）

それでは、歳出の詳細説明に先立ちまして、各会計及び各費目全体にわたる人件費について御説明申し上げます。予算説明資料の116ページ、職員人件費一覧を御覧ください。

全会計での職員人件費につきましては、総額で1千105万4千円の増額となります。職員数は特別職を除き125名で2名の増となります。これは定員適正化計画等に基づき、計画的に職員を採用していることによります。また、これ以外に再任用短時間職員を6名分計上しており、再任用職員は昨年度と比較して1名の増としております。なお、地域手当につきましては、前年度と同様5%としております。

会計ごとに御説明申し上げます。一般会計は、職員2名の増、反対に再任用職員は1名の減で見込んでおります。一般職の117名、再任用短時間職員が4名としております。一般会計総額では945万3千円の増額となっております。項目ごとに御説明いたします。

給料は、483万1千円の増額です。先ほど申し上げましたとおり、職員数を増としたことや、昨年の人事院勧告に基づく給与改定、定期昇給などにより増額となっております。

次に、職員手当になります。期末勤勉手当は、人事院勧告により勤勉手当の支給月数が0.1月分増えたことなどにより、増えております。職員手当の増額の要因は、統一地方選挙の投開票事務に従事する職員の時間外手当であり、これが760万円ほどございます。

次に、退職手当組合負担金です。一般負担金につきましては、負担率は変更ございません。一方で平成31年度で定年退職の職員は3名となり、1名減となったことから、特別負担金では812万円ほどの減となっております。

次に、共済費です。こちらは率の改定や定期昇給に伴う標準報酬の上昇などにより336万円ほどの増となっております。

続いて国民健康保険特別会計です。予算計上の職員数は3名で変更はございません。給料、職員手当、共済費とも配置職員の変更などにより減となっております。

つづきまして、下水道事業会計です。こちらは公営企業会計に移行いたします。予算計上の職員数は5名、こちらも前年度より1名増としております。職員数の増により、各費目で増となっております。なお、公営企業会計は、退職手当組合負担金を次会計で負担することとしていることから、退職手当組合一般負担金新たに発生しております。

次に、介護保険事業特別会計です。予算計上の職員数は2名で変更はございません。配置職員等の変更から、各費目で減となっております。水道事業会計です。こちらも

予算計上の職員数は3名、変更はございません。給料は定期昇給により、職員手当は定期昇給や勤勉手当の支給月数の増等により増えております。

人件費に係る説明は以上となります。総額では、1千100万円ほどの増となっておりますが、このうち選挙分が760万円となっております。

なお、各会計の職員給与費に係る説明は、本説明をもって省略とさせていただきます。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○議会事務局長（小宮好徳）

それでは、予算説明資料。34、35ページをお開きいただきたいと思います。款項目とも議会費でございます。事業欄は、一つ飛ばさせていただきますして、議会事務費でございます。新規事業といたしまして、新庁舎移転に伴う議場の重機、音響設備等の備品購入費を計上させていただいてございます。

○総務課長（山口哲也）

続きまして、総務費、総務管理費、一般管理費、中段、職員研修事業費になります。平成30年度は、引き続き意識改革、特に「聞くこと」をテーマに行いましたが、31年度につきましては、話すこと、接遇力の向上のための研修を実施いたします。また、職員の接遇力を客観的に把握するための窓口診断等を行います。

○税務窓口課長（遠藤直紀）

続きまして、その下、説明資料、その下になります。統合型地理情報システム導入事業費になります。こちら新規事業でございます。町内で共有できる様々な空間データを一元的に整備管理することにより、行政事務の効率化、高度化及び町民サービスの向上を図るものでございます。平成31年度に統合型GISを導入し、以降、全庁的に共有・活用していく計画としてございます。

○企画政策課長（岩本浩二）

続きまして、2目広報広聴費でございます。「広報かいせい」およびお知らせ版につきましては、現行6千部を発行しておりますけれども、人口、世帯数の増加などによりまして、配布、配架部数に不足が生じているため、「広報かいせい」および1日号のお知らせ版を現行6千部から6千500部に増刷しております。また、8月15日号のお知らせ版につきましては、自治会の負担軽減の観点から、発行・配布を行わないこととしてございます。次ページをお開きください。

○財務課長（田中栄之）

予算書では、40ページに移ります。3目財産管理費、説明書では、ちょうど中段になります。庁舎整備事業費、2019年11月に建物を完成させ、以後、内部整備を行ってまいります。

○企画政策課長（岩本浩二）

四つほど飛んでいただきまして、広域連携推進関係費でございます。平成31年度につきましては、あじさいまつり開催期間中に、北海道幕別町の皆さんにお越しいただく際の必要経費を計上してございます。

続きまして、ブランディング推進事業費でございます。開成町のPR活動の一環といたしまして、平成29年度町民活動応援事業採択団体でありますあじさいちゃんクラブと連携いたしまして、開成町の普及を通じたあじさいちゃんの活動を幅広く展開していきたいと考えてございます。

次ページをお開きください。四つほど飛ばしていただきまして、7目電算管理費、電算システム管理費でございます。これまで庁内電算機器やL G W A N機器の賃借料、サーバー保守料など、内部情報系の関係経費を企画費、地域情報化推進事業費において、また神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金や基幹系システム関係経費など、主に関係経費を電算管理費行政事務電子化推進事業において計上してございましたけれども、現状では特段区別する必要がなくなったことから、煩雑さを解消するため、行政事務電子化推進事業費に集約してございます。

○教育総務課長（中戸川進二）

続きまして、三つ飛びまして、南部コミュニティセンター管理運営事業費でございます。こちらの事業につきましては、南部コミュニティセンターの維持管理を行う事業でございますが、平成31年度におきましては、開成幼稚園の園舎とあわせ、下水道接続工事を行うものでございます。

○自治活動応援課長（小玉直樹）

続きまして、協働推進事務費でございます。こちらにつきましては、協働推進計画に基づき、協働をさらに進めるための基本的な考え方や手法分かりやすくまとめた「協働の手引き」を新たに作成費として計上してございます。次のページを御覧ください。

○税務窓口課長（遠藤直紀）

説明書ページは40、41ページになります。上から10番目、項目ともに戸籍住民台帳費の個人番号カード交付事務費でございます。こちらは個人番号カードの交付事務に係る経費となります。平成31年度は、コンビニ交付サービスの導入を予定しておりますので、あわせて広報や各地区へ出向いて、マイナンバーカードの普及に取り組むための経費も計上してございます。

一つ飛ばしていただきまして、その下、コンビニ交付サービス導入事業費でございます。町民のさらなる利便性向上を目指し、マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機で朝6時30分から夜11時まで、住民票の写しや印鑑登録証明書は取得できるサービスを10月から開始するものでございます。導入費用として、システム設定等、運営経費として導入から6カ月分のサービス利用料、負担金、手数料等見込み計上してございます。

○福祉課長（渡邊雅彦）

次ページ御覧ください。42、43ページ下から三つ目の民生委員・児童委員関係費等でございます。こちらにつきましては、民生委員・児童委員35名分の報酬、それから平成31年度が民生委員・児童委員の一斉改選ということで、民生委員推薦会のほうを3回開催する予定でございます。1ページおめくりください。

○保険健康課長（亀井知之）

一つ飛びまして、高齢者保健福祉計画等策定事業費でございます。第8期の高齢者保健福祉計画等の作成準備のためにアンケート調査を実施する予定でございます。一般高齢者、要介護認定者各200人に対するアンケートを実施する予定でございます。

○福祉課長（渡邊雅彦）

続きまして、全国健康福祉祭運営事業費でございます。全国健康福祉祭ねりんピック神奈川2021におきまして、開成町は、パークゴルフの会場に決定しております。開催年度の前年にプレ大会を開催するため、平成31年度開催の和歌山大会への視察費用を計上しております。

続きまして、社会福祉協議会支援事業費でございます。開成町社会福祉協議会への補助金として、法人運営費、人件費、地域福祉推進事業に対して補助いたします。

続きまして、地域見守り推進事業費でございます。高齢者の見守りにつきまして、平成31年度から緊急通報装置による見守り事業の見直しを予定しておりまして、従来の緊急通報に加えまして、トイレのドアが長時間開閉が行われない場合や、熱センサーによる感知により、委託業者が駆けつける仕組みを構築するということで、高齢者の方の体調の急変に対応できるものでございます。

一つ飛ばしていただきまして、福祉避難所等整備事業費でございます。従来、防災のほうで掲示をしておりまして、災害時要援護者の避難受け入れに関する協定で締結した福祉避難所の災害備蓄品の更新費用をこちらで計上しております。

続きまして、町内巡回バス運行事業費等でございます。31年度の町内巡回バスの運行業務委託料でございます。

○保険健康課長（亀井知之）

二つ飛んで、老人福祉費の後期高齢者医療広域連合関係費となります。後期広域連合に対する事務費の負担金、定率の市町村負担金を計上しているものでございますが、被保険者数が伸びておりまして、前年度比4.2%の増額で計上させていただいております。

○福祉課長（渡邊雅彦）

二つ飛ばしていただきまして、敬老意識啓発事業費でございます。町敬老会の開催経費と敬老祝金支給に係る経費でございます。敬老会につきましては、皆で御長寿をお祝いする集いということで、すべての年代の方が長寿をお祝いするような形を進めてまいりたいと思います。

一つ飛ばしまして、ゆめクラブ活動支援事業費、シルバー人材センター支援事業費でございます。町内老人クラブ、連合会、それからゆめクラブ11団体への活動費、シルバー人材センターへの町補助金となります。1ページおめくりください。

○保険健康課長（亀井知之）

二つ飛びます。地域医療介護総合確保基金事業費でございます。歳入のほうでも御説明いたしましたが、第7期の介護保険計画で、小規模多機能型居宅介護施設整備、これを一つと1棟整備を予定しており、それに対する施設整備と準備経費に対し助成

を行うものでございます。整備助成が３千２００万、準備７２０万の内訳となっております。

○福祉課長（渡邊雅彦）

五つ飛ばしていただきまして、自立支援給付関係費でございます。障害者総合支援法に基づく在宅サービス、施設入所サービスなどの障害福祉サービスと児童発達支援、放課後デイサービスなどの児童福祉サービスへの費用でございます。

三つ飛ばしていただきまして、地域生活支援事業費でございます。町内の障害者の方に対応致しました、障害福祉サービスを提供いたしますが、平成３１年度に聴覚障害の方の意思疎通支援事業といたしまして、新庁舎におけます情報バリアフリーを目指しまして、手話通訳者設置事業に取り組んでまいります。なお、１点修正がございまして、２行目の重度障害者住宅設備改良費に対する補助金につきましては、下の項目の障害者福祉推進事業費に含まれておりますので、その部分につきましては削除をお願いいたします。

１ページおめくりください。４８ページお願いします。二つ目の重度障害者医療費助成事業費でございます。重度障害者の方２１２名の方の医療費の助成でございます。

三つ飛ばしていただきまして、福祉会館管理費でございます。指定管理者に対しまして、指定管理委託料、福祉会館敷地の借地料などを計上しております。

平成３１年度につきましては、１階多目的ホールの天井の脱落防止対策を取る必要があるということで、耐震改修工事の実施設計委託料を掲示をしております。

○子ども・子育て支援室長（田中美津子）

続いて、児童福祉費でございます。下から三つ目の子ども・子育て支援事業計画策定事業費でございます。こちらにつきましては、第２期開成町子ども・子育て支援事業計画の策定に当てる委託料の計上しております。

○議長（茅沼隆文）

これで一般会計の民生費までの説明を終了いたします。

次は衛生費になりますが、衛生費は、暫時休憩の後から始めたいと思います。

では、ここで暫時休憩とします。再開を１３時３０分とします。繰り返します。午後は衛生費のところから再開です。

以上です。

午前１１時５０分

○議長（茅沼隆文）

再開します。

午後１時３０分

○議長（茅沼隆文）

それでは、一般会計の衛生費からの細部説明を担当課長に求めます。

○保険健康課長（亀井知之）

それでは、ページが、資料５０ページ、５１ページになります。衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費でございます。二つ飛びまして、健康づくり推進事業費ござい

ます。健康づくりの推進協議会委員の報酬や健康普及委員の活動、あじさい健診の委託料等、各種健康増進事業に係る費用を計上しているものでございます。

新規事業としまして、第2期健康増進計画に基づきまして、3年計画で健康づくりプロジェクトを開始いたします。「筋力をつけよう」をスローガンとして、啓蒙活動とともに、「未病見える化コーナー」を活用した運動の習慣づけと運動指導を行う予定としております。

次に、食育推進事業費でございます。こちらは町民の食育事業実施するための各種講座開催等にかかる費用を計上しているものでございます。新規事業として、第2期食育推進計画に基づき、「朝食を食べよう」をスローガンとした啓蒙活動を先ほどの健康づくりプロジェクトとあわせて行なっていく予定としてございます。

二つ飛びまして、予防費、母子保健事業費になります。乳幼児健診や健康教室、相談等に係る賃金、派遣手数料、また、母子保健推進員の活動謝礼と、母子保健に係る事業費を計上しているものでございます。新規事業としましては、産婦健診助成を新たに実施いたします。1出産について、1回4千円を助成し、産後うつの早期発見に取り組み、必要な産婦に対しては、保健師等による訪問型及びデイサービス型の産後ケアを実施する予定としております。

次のページを御覧ください。保健予防事業費でございます。各種がん検診、後期高齢者健診の委託料や人間ドック受診料の一部補助等の経費を計上しているものでございます。

新規としまして、50歳以上を対象とした胃の内視鏡検査を1市5町、医師会のほうにお願いをして、新たに実施することとしております。予算的には、50人分を計上しているものでございます。

○環境防災課長（山口健一）

続きまして、二つ飛びまして、環境衛生費になります。一つ飛ばさせていただきます、斎場事務関係費でございます。本年7月1日供用を開始いたします、新小田原市斎場に対する負担金、事務委託費でございます。

続きまして四つ飛ばしていただきまして、ごみ処理関係費でございます。再資源化されない焼却や埋め立てを行うごみに対する収集・運搬等の委託料、本年度再開するごみ処理移行期間に関する人件費の負担金でございます。

一つ飛ばして1ページおめくりください。地球温暖化対策推進事業費でございます。低酸素で地域に優しいエネルギー社会実現のため、ゼロ・エネルギー・ハウス等への補助を昨年度より拡充し、増額しております。1ページおめくりください。

○産業振興課長（遠藤孝一）

資料の56、57ページの一番下から2番目、観光費の観光対策推進事業費でございます。町のイベントの核である、あじさいまつり等の各種事業関係団体への補助金と、また町のオリジナルあじさい「開成ブルー」の増株に取り組みます。

○北部地域活性化担当課長（井上 新）

その下、あしがり郷拠点整備事業費でございます。北部地域活性化の拠点として、

瀬戸屋敷と拠点機能強化を図るため、交流拠点施設整備と駐車場拡大を行うための経費でございます。1枚おめくりください。

○街づくり推進課長（高橋清一）

続いて土木費に移ります。上から五つ目、項道路橋りょう費、目道路新設改良費、開成駅周辺再整備事業費でございます。新規の事業でございます。こちらにつきましては、開成駅周辺の環境変化が見込まれている中、開成駅の交通結節の状況などを捉えて、開成駅西口駅前広場機能の向上に向けて、再整備の検討のための調査を実施いたします。

次に、目橋りょう整備費、橋りょう維持管理事業費でございます。こちらは平成26年7月の法令改正により、5年に一度の橋りょうの定期点検が義務化され、平成30年度までに1巡目の点検が完了いたしますので、この点検の結果を受けて、橋りょう長寿命化計画の改定を行うほか、2巡目の定期点検や橋梁台帳の作成を行うのでございます。

次に、一つ飛ばしまして項河川費、目、河川維持費、水路整備事業費でございます。新規の事業でございます。こちらは浸水被害を防止するため、水路整備計画に基づき、水路改修を行うためのものでございます。内容については記載のとおりでございます。

次に、三つ飛ばしまして、項都市計画費、目、都市計画総務費、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業費でございます。こちらは、開成駅へ誘導するアクセス道路として、都市計画道路駅前どおり線の未整備区間の整備およびその周辺の良好な市街地の形成について土地区画整理事業により、都市基盤の整備を図るため、引き続き地権者との合意形成を進めるとともに、2020年度の事業認可を目指して事業認可申請書の作成などを行うものでございます。

○上下水道課長（熊澤勝己）

一つ飛ばしまして、下水道費、に下水道会計出資金と下水道会計、公会計に統合しました下水道会計への繰出金および出資金です。下水道特別会計での繰出金にあたります。1ページおめくりください。

○街づくり推進課長（高橋清一）

めくってください。説明資料60ページ、61ページでございます。1番上段でございます。目、公園費、公園維持管理事業費でございます。こちらは都市公園13カ所、町条例公園22カ所、児童遊園など10カ所について、町民の憩いの場として安心して利用できるよう施設の保守点検や修繕、公園内の除草、植栽の剪定などを行うものでございます。

また、開成駅東口駅前にございます開成駅前第二公園に保存しております。ロマンスカー、ロンちゃんの塗裝修繕工事を実施いたします。この工事の財源については、現在予算上については、一般財源ということとしておりますが、さきの平成30年度補正予算において、開成駅前第二公園ロンちゃん基金に積み立てました寄附金について寄附者の御意向に沿って、ロンちゃんの塗裝修繕工事の財源として充当するように考えており、6月の定例会議において、ロンちゃん基金からのとりくずしをさせてい

ただき、財源の組みかえを行いたいと考えているとでございます。

○環境防災課長（山口健一）

一つ飛ばしまして、消防費に入ります。目、常備消防費、常備消防関係費でございます。こちらは小田原市消防本部への消防救急業務の事務委託料となります。

平成31年度は、消防指令システムの改修等が予定されており、開成町分では、昨年と比較しまして、1千23万5千円の増となっております。

次に、非常備消防費、一つ飛ばしまして、消防団等活動推進事業費でございます。こちらは消防団員の募集活動を行うほか、消防団員の装備品である、今年度はヘルメットを更新いたします。

続きまして消防施設費、一つ飛ばしまして、消防団車両整備事業費でございます。平成28年度から実施してきました消防団のポンプ付積載車の更新です。平成31年度第5分団の車両の更新によりまして終了となります。

続きまして、目では災害対策費でございます。災害対策、三つ目の防災行政無線整備事業費でございます。新庁舎の建設にあわせまして、防災行政無線（同報系・移動系）のデジタル方式に更新します。また、災害対策本部室の設備の充実によりまして、情報収集の体制強化や住民への正確な情報発信を行ってまいります。

○教育総務課長（中戸川進二）

次のページをおめくりください。62ページ、63ページになります。款は教育費のほうに移ります。上から五つ目、事務局費の中の適応指導教室運営関係費でございます。こちらは就学に課題がある子どもの学校復帰を目的に設置している適応指導教室を運営するものでございます。民間施設の借り上げ方式で実施しておりますが、これまでの上島地区内の施設が持ち主の意向で取り壊されることになりました。それによりまして、新たに下延沢地区の施設を借り上げて実施をしていくものでございます。

続きまして、四つ飛んでいただきまして、児童・生徒安全対策事業費でございます。こちらは地域一丸となって子どもたちの安全を確保する事業となっておりますが、平成31年度の新入学1年生に配布を行います、ランドセルカバーをあじさいちゃんのデザインに変更して、継続して実施していくものでございます。

次のページをお開きください。64、65ページになります。上から二つ目でございます。就園就学助成事業費でございます。この事業につきましては、経済的理由や特別支援学級に在籍する保護者に対し、就学時に必要な経費を支援するものでございます。なお、この事業のうち、新入学用品費につきましては、平成30年度より前倒し支給を行っております。

また、私立幼稚園の就園の保護者に対し、保育料を補助することを行ってまいります。さらに子ども・子育て支援新制度移行の私立幼稚園に対し、施設型給付を未移行の私立幼稚園に対しては10月の幼児教育無償化に伴って利用者負担分を給付するものでございます。

続きまして三つ飛んでいただきまして、開成小学校費の項になります。初めに学校管理費、学校管理運営関係費になります。こちらは開成小学校の学校施設の維持管理

を行うものでございますが、平成31年度におきましては、水漏れしている屋外スプリンクラーの修繕等を行うとともに、一般開放の方も利用できるよう、体育館のAEDを整備する予定と考えてございます。

それからその下でございます。業務用パソコン管理費でございます。この事業につきましては、パソコン教室用パソコンの維持管理を行うものでございますが、平成24年度から利用しているパソコン等の機器を平成31年9月から新しいものに更新をする予定でございます。

1ページをおめくりください。66ページ、67ページになります。項は、開成南小学校費になります。

一番上の事業、学校管理運営関係費でございます。学校施設の維持管理を行うものでございますが、平成31年度は、開校後、9年が経過し、ガスヒートポンプエアコンの室外機の総合点検が必要であることから、平成31年度から順次メンテナンス業務を実施していくものでございます。

続きまして、八つ飛んでいただきまして、項で中学校費に参ります。目、学校管理費、事業としては学校管理運営関係費でございます。学校施設の維持管理を行う事業でございますが、平成31年度は一部壊れて使えなくなっている体育館のバスケットゴールの修繕やテニスコートの表装の修正等を行う予定でございます。

次のページをお開きください。項で幼稚園費に参ります。目、幼稚園管理費、事業、一番最初の幼稚園管理運営関係費でございます。こちらは園舎の維持管理等を行う事業でございますが、南部コミュニティセンターとあわせ、下水道接続工事を実施するほか、保健室用ベッドの更新など、3年間教育に実施に向けた整備を実施していく予定です。

続きまして、五つ飛んでいただきまして、目で幼稚園振興費、事業としては、幼稚園生活支援員等配置事業費でございます。

平成31年度から3年間教育を本格実施し、教育の質の向上や子どもたちの安全で安心していただける幼稚園を目指して、介助教員及び従業員をこれまでから8名増員し、3年間教育の実施に向けて万全を期して行く予定でございます。

続きまして五つ飛んでいただきまして、項は社会教育費になります。事業は青少年健全育成推進事業費になります。この事業は、青少年の健全な育成生活を推進するため様々な事業を実施するものでございますが平成27年度に交流を再開した北海道幕別町交流事業では、平成31年度が先方の子供達を受け入れて実施していく予定としております。次のページをお開きください。

上から二つ目、社会教育費項目で公民館費、授業は図書室の運営事業費でございます。町民センター図書室を運営するための事業でございますが、導入した、平成24年度に導入した蔵書管理システムとその関連機器について、平成31年9月から新しいものに更新をしていく予定です。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

続きまして、下から6個目となります諸支出金です。項、公営企業支出金、目、水

道事業支出金、事業、水道事業会計負担金でございます。こちらにつきましては腐食等があります消火栓43機を修繕を行うための修繕工事費と非常時に使用します飲料水袋の購入にかかります県補助金分を負担金として水道事業会計支出するものではございます。

○財務課長（田中栄之）

続きまして、最後になります。13款予備費、予備費につきましては、特定に当てず、保留分として、4千331万7千円を計上いたします。

ここで予算書にお戻りいただきまして、117ページをお開きいただきたいと思います。

117ページ、二つ表がございます。上段が継続費についての、前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額または支出出額の見込み、および当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書でございます。

下段が債務負担行為で、翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額または支出額の見込み、および当該年度以降の支出予定額等に関する調書で、119ページまで続いてございます。

最後になります。120ページをお開きください。

地方債の前々年度末および前年度末における現在高、並びに当該年度末における現在高の見込みに関する調書でございます。

以上もちまして、一般会計当初予算の説明とさせていただきます。